19 日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

平2-50359 ⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

®Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成2年(1990)2月20日

G 11 B 20/10

7923-5D

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全6頁)

会発明の名称 PCM配録再生装置

> ②特 願 昭63-202288

29出 願 昭63(1988)8月12日

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

勿出 願 人 シャーブ株式会社 四代 理 人 弁理士 原 謙三

1. 発明の名称

PCM配録再生装置

2. 特許請求の範囲

1. PCM信号を記録媒体に記録し、及び/又 は、記録媒体からこのPCM信号を再生するPC M記録再生装置において、PCM信号の記録回路 又は再生回路中に配置され、入力したPCM信号 の各ピットパターンにおける少なくとも最下位桁 のピットを一定の値に固定して出力するピット固 定回路が設けられたことを特徴とするPCM記録 再生装置。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、DAT [digital audio tape recorder] 等のように、音声等のアナログ信号をP CM方式により記録再生するPCM記録再生装置 に関するものである。

〔従来の技術〕

音声を磁気テープ等にアナログ記録し再生を行 うと、記録媒体の特性や回転系の精度がそのまま 信号に影響を与えるために音質の劣化が生じる。

しかし、この音声を一旦PCM方式によりデジ タル信号に変換すれば、記録再生の際に誤り訂正 等が正確に行われる限り、デジタル信号の状態で 音質が劣化することは全くなくなる。

そして、このPCM方式により音声を録音する 従来のDATは、再生したデジタル信号をそのま ま出力し、また、入力したデジタル信号を所定の フォーマットでそのまま記録することができるの で、音質劣化の全くないダビングを容易に実現す ることが可能となっていた。

〔発明が解決しようとする課題〕

ところが、このような音質劣化の全くないデジ タルダビング (デジタル・ダイレクト・ダビング)が可能になると、他人の著作権に係る音楽等の デジタルソースについて、原盤と寸分違わぬ複製 品を容易に入手する手段を思念の業者等に与える ことになりかねない。また、悪意がなくとも、こ

特開平2-50359(2)

のように容易にデジタルダビングが可能になると、個人的使用の範囲を逸脱して一般ユーザーの不 法なダビングを助長するおそれが生じる。そして 、近年、このような不法行為による著作権侵害が 社会問題や国際問題にも発展している。

そこで、従来のDATでは、既成のデジタルソースであるCD [compact disk] 等については、この信号のフォーマットを検出してデジタルダビング自体を禁止することにより、著作権の保護を図っている。

しかし、今後各種のメディアによって様々なデジタルソースが供給されるようになると、これら全てについて同様の対応をとることは困難である。 従って、従来のDATは、必ずしもこのような 不法行為を未然に防止するための処置が十分に課 じられているとは言い得ないという問題点が生じ ていた。

また、このようなデジタルダビングによる著作 権侵害の問題は、DATのみならず、アナログ信 号をPCM方式により記録する全てのPCM記録

。また、アナログ信号を直接入力してA/D変換を行い、記録のためのPCM信号を生成する機能、及び再生したPCM信号をさらにD/A変換して元のアナログ信号を出力する機能も有する。ただし、本発明のPCM記録再生装置は、少なくともPCM信号を記録媒体に記録する機能のいずれかを有すれば構成可能である。

ビット固定回路は、上記記録回路又は再生回路の子でM信号を入力し、このPCM信号を入力し、このPCM信号の各ピットパターンにおける少なくとも最下位では再生回路に戻す。例えば、PCM信号の記録回じったのでは再生回路における最下位では、PCM信号の強制のクレンが約6dB(≒201081・21)決くなりににいるグイナミックレンが約6dB(≒201081・21)決くなりにいいるグトルにもがまでを固定する。従って、記録や再生の際にPCM信号がこのビット固定回路を通過すると、音

再生装置に共通するものである。

〔課題を解決するための手段〕

本発明に係るPCM記録再生装置は、上記課題を解決するために、PCM信号を記録媒体に記録し、及び/又は、記録媒体からこのPCM信号を再生するPCM記録再生装置において、PCM信号の記録回路又は再生回路中に配置され、入力したPCM信号の各ピットパターンにおける少なくとも展下位桁のピットを一定の値に固定して出力するピット固定回路が設けられたことを特徴としている。

(作用)

PCM信号は、アナログ信号をA/D変換し、この量子化の値を2進数のコードに変換した信号である。従って、PCM信号の各2進数の値は、そのサンブリング期間におけるアナログ信号のレベルに対応した値となる。

また、通常のDAT等は、このPCM信号を所定のフォーマットで記録媒体に記録し、かつ記録 媒体からこのPCM信号を再生する機能を有する

質等が劣化することになる。

(実施例)

本発明の一実施例を第1図乃至第3図に基づい て説明すれば、以下の通りである。

本実施例は、R - D A T [rotary head digital al audio tape recorder] の再生回路にピット固

特開平2-50359(3)

定回路を設けた場合について示す。

磁気テープA上に所定のフォーマットで記録されたデジタル信号は、再生ヘッド1で再生されるようになっている。なお、この再生ヘッド1は、回転ドラム上に設けられた一対の磁気ヘッドによって構成される。

この再生へッド1の出力は、再生プリアンプ2を介してイコライザ3に接続されている。再生プリアンプ2は、再生へッド1が出力する再生信号であり、イコライザ3は、このイコライザ3の出力は、復調回路4に接続されている。また、この復調回路4には、RAM5が接続されている。そして、この復知回路4は、まず再生信号の符号復元を行った後に、このRAM5が誤り相正でいくクーリーブ並びに誤り訂正及び誤り補正を行い、PCM信号®を復興するようになっている。

復調回路4におけるPCM信号のの出力は、L SB固定回路6に接続されている。また、この復

れるようになっている。そして、このNAND回路 6 a の出力は、インバータ回路 6 c を介して L S B 固定回路 6 の出力となる。上紀構成の L S B 固定回路 6 の真理値表を第1表に示す。

第1衷

| 入。カ | | 出力 |
|-----|---|----------|
| 0 | 0 | ® |
| L | L | L |
| Н | L | н |
| L | Н | L |
| Н | Н | L |

この衷から明らかなように、ゲートパルスのが"LOW"の場合には、PCM信号のがそのまま出力され、ゲートパルスのが"HIGH"の場合には、PCM信号の状態にかかわらず出力が常に"LOW"に固定される。そして、このLSB固定回路6の出力がLSB固定PCM信号のとなる。

LSB固定回路6の出力は、フォーマット回路8を介してデジタル出力回路9及び光出力回路10

調団路4は、チャンネルクのとピットクをは、カウンタでである。 サーンスルクののははカウンは、アーロに接入ののはは、クー・では、クーン、アーのののは、クーン、アールののでは、クーン、アールでは、アールでは、アールでは、アールでは、アールでは、アールでは、アールでは、アールでは、アールでは、アールでは、アールでは、アールでは、アールでは、アールでは、アールでは、アールでは、アールを対して、アールをでいる。のからに、アールでは、アールを表して

LSB固定回路6は、本発明の構成要素であるビット固定回路に対応し、第2図に示す論理回路によって構成されている。このLSB固定回路6におけるNAND回路6aの一方の入力には、PCM信号®が入力されるようになっている。また、このNAND回路6aの他方の入力には、ゲートパルス@がインバータ回路6bを介して入力さ

に接続されている。フォーマット回路8は、LSB固定PCM信号館にデジタルインターフェース用の標準フォーマットを施す回路である。デジタル出力回路9は、フォーマットされたLSB固定PCM信号館をデジタル音声信号として外部に出力する回路である。また、光出力回路10は、フォーマットされた同じLSB固定PCM似号館を光信号に変調して外部に出力する回路である。

前記復調回路4におけるPCM信号®の出力は、D/Aコンバータ11にも接続されている。D/Aコンバータ11は、PCM信号®をアナログの音声信号に関す回路である。このD/Aコンバータ11の出力は、LPF12を介してアナログ出力回路13に接続されている。LPF12は、出力回路13に接続されている。LPF12は、低域通過フィルタであり、標準モードの場合にはしゃ断固波数を22kmとして、サンプリングの間波数である48kmの2分の1以上の間波数の分を除去する。アナログ出力回路13は、このアナログ音声信号を外部に出力する回路である。

特開平2-50359(4)

上記構成の再生回路の動作を説明する。

再生ヘッド1から出力された磁気テープAの再 生信号は、再生プリアンプ2で増幅され、イコラ イザ 3 で波形等化されて復調回路 4 で P C M 信号 ◎に復調される。そして、このPCM信号⑩は、 D/Aコンバータ11でアナログ信号に変換され 、LPF12で髙周波成分をカットされてアナロ グ出力回路13からアナログ音声信号として外部 のオーディオ装置に出力される。この場合には、 従来と同様に、LSB固定回路6を介することな くアナログ音声信号が出力されるので、R-DA Tのそれぞれのモードの特性を最大限に発揮した アナログ再生を行うことができる。なお、このア ナログ音声信号出力を他のPCM記録装置でダピ ングする場合には、上記 D / A コンパータ 1 1 や 記録側のA/Dコンバータ等による音質の劣化が 生じるので、デジタルダピングにおけるような問 題は発生しない。

上記復綱國路4で復綱されたPCM信号®は、 LSB固定國路6にも送られる。また、この復綱

る.

このようにしてLSB固定回路6から出力され たLSB固定PCM信号回は、フォーマット回路 8 でデジタルインターフェース用の標準フォーマ ットが施され、デジタル出力回路9及び光出力回 路10に送られる。デジタル出力回路9では、こ のフォーマットされたLSB固定PCM信号像を ピンジャック等から外部に送り出すようになって いる。また、光出力回路10では、このフォーマ ットされたLSB固定PCM信号電を光信号に変 調して光端子から外部に送り出すようになってい る。そして、デジタルダピングを行う場合には、 これらデジタル出力回路9又は光出力回路10の 出力端子と他のPCM記録装置とを接続する。た だし、この場合にダビングされるLSB固定PC M信号電は、標準モードで量子化ピット数が16 ピットのPCM信号OC対して、実質的に量子化 ピット数が15ピット分の精度に音質を劣化され ることになる。

なお、デジタルダビングごとに音質を劣化させ

回路4は、チャンネルクロックのとピットクロッ ク围をカウンタ7に送る。チャンネルクロック圏 は、根準モードの場合、第3図に示すように、ビ ットクロック®の16ピットごとに反転するLR クロック⊗となる。このため、カウンタ7では、 このLRクロック圏の反転ごとにクリアしながら 、ピットクロック®の16ピット目をカウントす るので、PCM信号Dの各ピットパターンにおけ る最下位桁(LSB)に対応する位置で"HIGH" となるゲートパルスOを発することになる。従っ て、これらPCM信号®及びゲートパルス®がL SB固定回路6に入力されると、PCM信号のの 各ピットパターンにおける最上位桁(MSB)か ら第15桁目までは、ゲートパルス◎が"LOW" であることからそのまま通過する。また、各量子 化コードにおける最下位桁では、ゲートパルス© が "HIGH" となるため、常に "LOW" に固定され る。この結果、LSB固定回路6から出力される LSB固定PCM信号®は、PCM信号のにおけ る最下位桁のみが"LOW"に固定された信号とな

ようとすれば、例えばPCM信号のビットパターンをMSBに"0"を補いながら1ビットすつ下位側にシフトされるような方法も考えられる。たの場合、ダビングごとに音質が劣化すると共に、音量も低下することになる。ただし、実際の日本では、PCM信号を2の補数で現すことになるので、MSBが"1"となるマイナスの値の場合にこのようなシフトを行うことは問題があり、例えば2による除算等の演算処理が必要となる。

〔発明の効果〕

本発明に係るPCM記録再生装置は、以上のように、PCM信号を記録媒体に記録し、及び/又は、記録媒体からこのPCM信号を再生するPCM記録再生装置において、PCM信号の記録回路又は再生回路中に配置され、入力したPCM信号の各ピットパターンにおける少なくとも最下位桁のピットを一定の値に固定して出力するピット固定回路が設けられた構成をなしている。

これにより、デジタルダピングの際に、そのP

特開平2-50359(5)

CM信号の音質等を劣化させることができる。

従って、本発明に係るPCM記録再生装置は、 著作権侵害等に関わるような不法行為を助長する おそれのある機能を制限することができるという 効果を奏する。

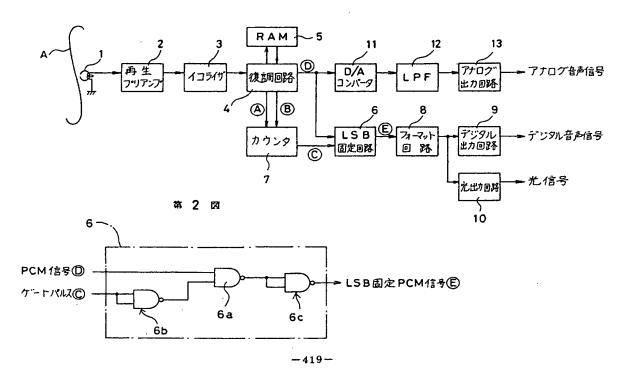
4. 図面の簡単な説明

第1図乃至第3図は本発明の一実施例を示すものであって、第1図はDATの再生回路のブロック図、第2図はLSB固定回路のブロック図、第3図はLSB固定回路における各信号のタイムチャートである。

6 は L S B 固定回路(ビット固定回路)、 即は P C M 信号、 A は 磁気テープである。

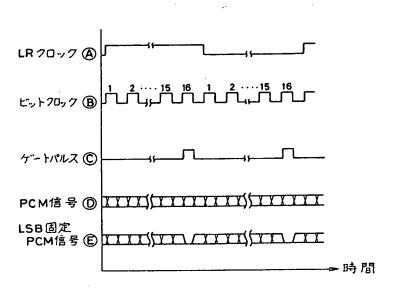
> 特許出願人 シャープ 株式会社 代理人 弁理士 原 謙 野野

第 1 図



特開平2-50359(6)





PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

02-050359

(43) Date of publication of application: 20.02.1990

(51)Int.Cl.

G11B 20/10

(21)Application number: 63-202288 (71)Applicant: SHARP CORP

(22)Date of filing: 12.08.1988 (72)Inventor: TSUJIMOTO MASATOSHI

(54) PCM RECORDING AND REPRODUCING DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To degrade the tone quality, etc., of a PCM signal at the time of digital dubbing by fixing the bit of a lowest-order digit in each bit pattern of the PCM signal inputted in the recording circuit or reproducing circuit of the PCM signal to a constant value.

CONSTITUTION: The regenerative signal of a magnetic tape A outputted from a reproducing head 1 is amplified by a reproducing amplifier 2, waveform— equalized by an equalizer 3, demodulated to the PCM signal by a demodulating circuit 4, and converted into an analog signal by a D/A converter 11. The PCM signal demodulated by the demodulating circuit 4 is sent to an LSB fixing circuit 6 to be made into a signal whose lowest—order digit is fixed, and sent to a digital output circuit 9 and a light output circuit 10. Thus, the tone quality of the regenerative signal can be degraded at the time of the digital dubbing.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's

decision of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]